

**魚沼地域(魚沼市、南魚沼市)を
拠点に2002年より活動**

■なぜ魚沼で野外教育？

魚沼と言えばコシヒカリが有名なように、ここは自然豊かな地域です。しかし、こうした地域でも生活スタイルはどんどん変わり、子どもたちが野外で遊ぶ習慣はかなり前からなくなっています。小さな子どもを持つ親にしても、既にそうした経験はほとんどありません。野外活動は、自然の中で遊ぶ面白さと自然の素晴らしさを体験し、自分たちの暮らす魚沼はこんなに良いところだと知ってもらうために始めました。私は自身は東京で生まれ育ったのですが、これも何かの縁かなと思っています。

■主な活動内容は？

現在は、青少年育成事業、地域づくり事業、そして昨年からは環境事業を3本柱としています。青少年育成事業では、ほぼ毎週末何らかのプログラムを実施。3〜6歳の未就学児から中学生まで、年間5000人の子どもたちを受け入れており、7人の常勤スタッフと20人のサポーターで対応しています。正直言ってかなり大変ですが、「子どもが主人公」という基本は外せないで、毎年、創意工夫の連続です。

**青少年の育成には
地域の活性化が必須条件**

■青少年育成事業と地域づくり事業との関連は？

10年にわたり青少年の育成に関わってきましたが、それだけではダメだと考えるようになりました。地元・魚沼の文化と自然の素晴らしさを子どもたちに伝えても、その子どもたちが都会に出て行ってしまえば地域はどうなる？我々は、地域の将来の担い手である子どもたちを育てているのではないかと？そう考えると、子どもたちが将来安心して暮らせるような地域を同時に作る必要があります。確かに、魚沼のコシヒカリは有名ですが、農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地や休耕地が目立つようになってきました。とても難しい問題ですが、地域資源を活かしながら、地元で若い人の雇用を生むようにしてはならないのです。

■地域づくり事業の内容は？

魚沼の地域資源と言えば自然。農業が中心ですが、ここで起業したい、移住して農業をやりたいという人たちがサポートしています。宿泊できる研修施設もあるし、フォロー体制も整っています。また、昨年から新しい取り組みとして、東京工科大学メディア学部



小中学生とその保護者を対象に山林資源を環境教育の場として活用している「うおぬまわくわくキッズ」



環境調査に参加する市民を対象に開催された調査研修会
未就学児(3〜6歳)を対象とした森の幼稚園「あいあいくらぶ」

プロジェクト演習「ソーシャル・イノベーションリーダーズWS」を受け入れていきます。これは、集落の支援・再生を目指す地域活性化プロジェクトで、学生が農作業等を体験しながら研修を行います。魚沼の将来の可能性を広げる一つのきっかけになればと期待しています。

**■自然は地域資源
新たに始めた環境事業**

なぜ環境調査なのですか？
豊かな自然も、意識しなければ資源にはなりません。ここでは、自然はごく普通のありふれた日常として見過ごされています。このまま放っておいたら、魚沼の自然だつてどんどん悪くなっていきます。今の魚沼をフィールドワークできちんと確かめ、自然を資源として利用していくための道筋をつけることが必要であると考え、新潟大学で植物学を教えた石沢進先生の指導の下、市民ボランティアにも参加してもらい調査を進めているところです。そして、この調査で分かったこと、例えば魚

沼地域に生息する絶滅危惧種等を公表する予定ですが、ギフチョウの生息地については公表を控えたい。というのも、捕獲が禁止されていないので、盗獲が後を絶たないからです。この調査は地球環境基金からも助成を受けており、その成果は平成27年度までに魚沼市の条例づくりに活かされる予定です。

■環境事業の将来は？

若い人たちが頑張ってくれています。だから、なんとかこの魚沼で、環境の仕事で食べていけるような仕組みをつくらなければならないと思います。

子どもたちの野外学習を目的としてスタートした魚沼伝習館。現在は、育てた子どもたちが地元に残れるような社会基盤づくりを目標に、日々ハードな業務に取り組んでいます。

Partners Talk

特定非営利活動法人野外教育学修センター魚沼伝習館

**魚沼の未来をつくるために
子どもを育て自然を守る**

越後三山(越後駒ヶ岳、中ノ岳、八海山)をはじめとする名山に囲まれた新潟県魚沼地域。この地で「魚沼の自然の恵みを生きる力に…」をモットーに、「子ども」と「自然」に熱い想いをかけるNPO法人野外教育学修センター魚沼伝習館の活動を紹介します。



お話を伺った坂本恭一理事長(右)と青少年・環境担当の中井杏菜さん



DATA BOX

- 名称：特定非営利活動法人野外教育学修センター魚沼伝習館
- 住所：〒946-0075 新潟県魚沼市吉田138-3
- URL：http://www.uonuma-denshukan.com/
- 目的：青少年育成、地域づくり、そして環境保全活動を通して魚沼地域の活性化を目指す。
- 活動実績
 - 2002年 前身体「奥只見郷ネイチャーレククラブ」設立 新潟県、魚沼市より委託を受け「青少年育成事業」を開始
 - 2004年 文科省より放課後子ども教室推進事業の委託を受け「放課後子ども教室」を開催
 - 2005年 NPO法人格を取得 NPO法人野外教育学修センター魚沼伝習館として活動開始
 - 2008年 文科省「青少年体験活動総合プラン」の実施
 - 2009年 文科省「青少年体験活動総合プラン」の実施 「魚沼自然体験活動プロジェクト2009」(子どもゆめ基金)の実施
 - 2010年 「魚沼自然体験活動プロジェクト2010」(子どもゆめ基金)の実施 「子育て支援者向け研修事業」(子ども未来財団)の実施
 - 2012年 環境調査「地域資源の利活用による自然環境の維持と継続可能な仕組みの形成と構築」(地球環境基金)の実施
- 主な活動内容
 - ・自然体験学習
 - ・環境教育学習
 - ・インターンシップ
 - ・就農サポート
 - ・環境調査



地域づくり事業の拠点・福山体験工房(回復させた休耕地での収穫体験)
集落の地元民の仕事を手伝う東京工科大学の学生